Ｄｕａｌ－８４　ＣＰＵボード

株式会社　デュアル電子工業

Ｄｕａｌ－８４　ＣＰＵボードの特徴

1．高速複合ＣＰＵチップ（東芝TMPZ84C015）を採用しています。

2．ソフト開発に従来のZ80の資産がそのまま使用できます。

3．基板の寸法が70mm×50mmと非常に小型です。

4．通信ボーレートに合わせたシステムクロック（9.8304MHz）を採用しています。

5．電池をつけるだけでＲＡＭのバックアップができます。

6．動作確認済みの基板なので開発期間が短縮できます。

7．動作確認済みの基板として非常に低価格です。

8．小ロット生産品では、そのまま部品として使用できます。

9．特定用途向けに防湿加工品も供給できます。

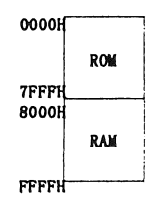
東芝TMPZ84C015内部I/Oアドレス

内部I/O	チャンネル	アドレス
CTC（カウンタタイマ）	CH0	#10
	CH1	#11
	CH2	#12
	CH3	#13
SIO（シリアルI/O）	CHA　送信／受信バッファ	#18
	CHA　コマンドステータスレジスタ	#19
	CHB　送信／受信バッファ	#1A
	CHB　コマンドステータスレジスタ	#1B
PIO（パラレルI/O）	A　ポートデータ	#1C
	A　ポートコマンド	#1D
	B　ポートデータ	#1E
	B　ポートコマンド	#1F
ウォッチドッグタイマ／スタンバイモード設定	WDTER, WDTPR, HALTMR	#F0
ウォッチドッグタイマコマンドレジスタ	クリアコマンド（4EH） ディセーブコマンド（B1H）	#F1
デイジーチェーン割込優先順位設定	bit2～bit0のみ使用	#F4

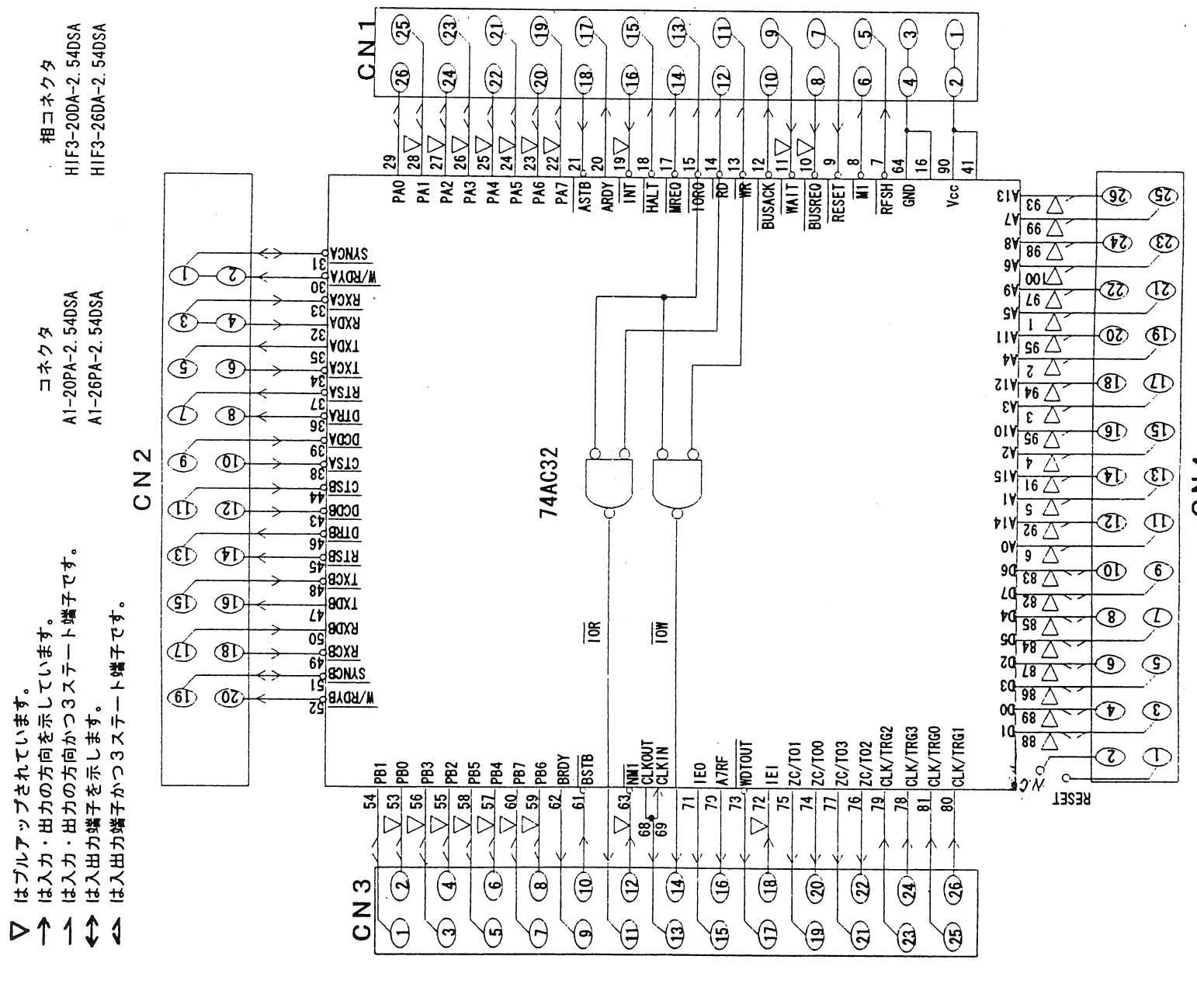
【取扱い上の注意】

1．静電気で破壊しないよう取扱いに注意して下さい。
2．電源電圧は5V±5%で使用して下さい。
3．極性を逆に接続しないで下さい。
4．ROMは100ns以下の速度のものを使用して下さい。
5．バックアップ電池は基板上CN4の両外の＋、－の記号のスルーホールに直接半田接続して下さい。
6．二次電池を使用して下さい。
7．温度は、0～50℃で結露のない状態で使用して下さい。

メモリーマップ



実際の部品の形式が回路図と異なる場合がありますが、御使用上の問題はありません。
万一の不良、あるいは故障修理につきましては、お買い上げのお店まで御連絡下さい。
また、技術改善等により予告なく変更する場合があります。御了承下さい。



DUAL			May 17, 1995
D84CPU-CP.SCH			
SIZE A3	FSCM NO	DWG NO	REV 2
SCALE		SHEET	

• △ = PULL UP 10-47K

A1-20 (26) PA-2.54DSA

A1-26PA-2.54DSA

A1-26PA-2.54DSA

A1-26PA-2.54DSA

CN1 CN2 CN3 CN4

U1 TMP24C015BF-10

U2A U2B U2C U2D 74AC32F (HC)

U3 30KBIT 27C256-10 0000H-7FFFH

U4 • 27C256-10 8000H-0FFFFH

U5 TC7W139F

U6 M62021F

TC5257CFL-85

XT1 19.6608MHz HC49U-S

C1 30P C2 30P

C3 33u-100uF C4 105 C5 C6 105 105

C7-C12 104

D1 1SS352 D2 1SS352

R 271 R 101 R 10-47K

VCC GND BT+ BT-